

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<b>抽出案件について</b>	
<b>1 県道高松坂出線（五色台工区）道路改築工事（五色台トンネル）（高松側工区）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見なし</li> </ul>	
<b>2 令和4年度 播磨灘東讃地区増殖場造成工事（津田工区）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸工事の場合、関係する工事を請け負った業者は参加できない等の制限をかける場合があったと思うが、今回落札した業者は、令和2年度や令和3年度で行った工事に関係した業者か。</li> <li>・工事全体を令和2・3・4年度と3分割し、それぞれ業者が違うということか。</li> <li>・毎年業者が異なることで施工上の問題は起きないか。</li> <li>・令和3年度の工事を受注した業者が入札に参加しているが、他の工区を受注した場合などの参加制限はないということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の工区については、過去請け負った業者は落札しておらず、関係のない業者である。</li> <li>・そのとおり。それぞれ違う業者である。</li> <li>・問題は起きない。</li> <li>・参加制限はない。</li> </ul>
<b>3 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 西海岸構造物撤去工事</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指名業者を土庄町と小豆島町から選定しているが、小豆島町の業者は辞退している。なぜそのような指名となったのか教えてほしい。</li> <li>・工事場所である豊島までの距離は、小豆島の池田と高松では大して変わらない。小豆総合事務所管内として、小豆島の中で指名業者を選定したと思うが、辞退の数を勘案すると、指名範囲を広げてもよかったのではないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事場所が土庄町豊島であることから、地域性を考慮して選定した。</li> <li>・小豆島町の業者に辞退が偏った理由については分析できていないが、小豆総合事務所管内において土地改良工事等が多く発注されており、技術者等が不足したためではないかと考えている。</li> </ul>
<b>4 No. 12 港湾施設維持修繕工事（朝日地区ほか）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同価の場合は、どのように落札者を決定しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入札システム上の電子くじを用いている。</li> </ul>
<b>5 （防災・安全社会資本整備交付金）水防情報システム改修工事（情報集配信装置部分更新）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この工事が、当初に契約した業者としか契約できない工事だとすれば、当初の契約をする段階で、将来的な話として部分的な改修は予定されていたと思われるが、その後のメンテナンス等の取り決めをせずに契約したのか。</li> <li>・このようなメンテナンス関係の工事に係る契約金額の決定は、県が示した金額に業者が応じるとい形なのか、それとも、業者の方が示した金額に県が応じざるを得ないのか。</li> <li>・県が妥当と考える金額での契約を業者が拒んだらどうするのかという問題もあるように思う。形式的に妥当性の判断をするのであれば、色々な手間のかかる事務手続きを簡素化した方がいいのではないか。</li> <li>・今回の工事の原因となった片系運用の期間がどれぐらい続いていて、それは大きな問題ではなかったのか。</li> <li>・今回改修工事をした後は、どれぐらいの期間、正常な状態が続くのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の工事は平成21年頃であるが、保守を含めての工事ということにはなっていない。</li> <li>・毎年の保守点検は別途発注しており、更新・交換が容易なものについては入札により発注しているが、今回の工事のような著作権に関する部分は、随意契約をせざるを得ない状況になっている。</li> <li>・業者に見積もりを取り、適正な見積もりであるかを県の情報システム所管課で判断した上で、単独随意契約をしている。</li> <li>・どのように簡素化できるかは難しいところがあるが、入札制度に則ってやらなければならないということで、今回の契約となっている。</li> <li>・これまでシステムを二重化にして運用していたが、令和4年7月頃に1系統に不具合が生じたため片系運用となり、急いで修繕を行った結果、今年度の出水期は問題がなかった。</li> <li>・今回の工事は、再度故障して復旧できない可能性があることを考え、二重化しておくため発注したが、システムの全体が古く、いつ壊れるかわからない。 また、再来年の出水期に間に合うよう、現在、システム全体を更新するための入札手続きを行っている最中である。</li> </ul>